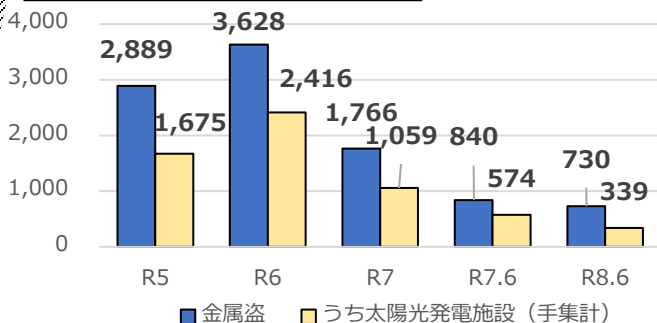




金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

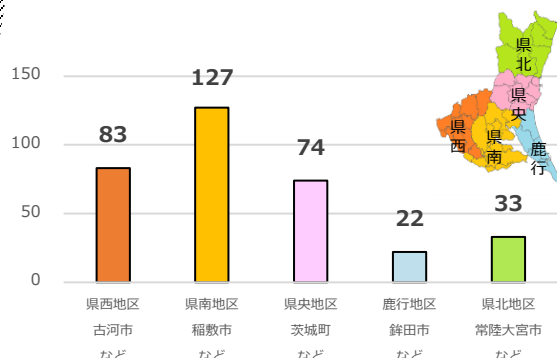
1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が **全国 2 位**
発生件数は、昨年同時期 **約 18% 減**
太陽光発電施設での被害が **約 50%**

太陽光発電施設関係の発生状況

2 令和8年6月末の地域別の発生件数（暫定値）



県南地区で約 4 割
小規模太陽光発電施設での発生が多い

金属盗等の現状と対策

バルブ・蛇口の盗難被害が発生しています

県内では、水田のバルブ、屋外水栓の蛇口等の盗難被害が発生しています。

管理者の方は、非金属製品への交換や、使用しない期間は取り外して保管するなどの対応をお願いします。



非金属製品への交換って言われても、手間だし、お金もかかる。
とりはずした金属製バルブがもったいないし盗まれてからでもいいよね。



そのお気持ちわかります。
ただ盗難被害に遭ってからでは、その後の修復額が大きくなる可能性があります。
バルブがつながっている塩ビ管が破壊され盗まれると交換よりも大がかりな補修費用がかかってしまう可能性がありますし、給水できない状態が続いたり、水がもれたままの状態になると大切な作物にも被害が出てしまいます。



不審者、不審車両を見かけたら、110番！

7月中、水田のバルブを盗んだ被疑者を逮捕しています。逮捕のきっかけとなったのは、地域の目です。

「普段見かけない車がとまっている。」「その田んぼの持ち主じゃない人がなにかしている。」などの不審な状況がありましたら、110番通報をお願いします。

生活安全総務課公式「X」もチェック！

金属盗難抑止対策情報を生活安全総務課公式「X」でも公開しています。
ぜひ、ご覧ください。



太陽光発電施設被害抑止対策



- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・ケーブル管内の固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・アルミケーブルの導入
- ・センサーライトなどの照明機器の設置

ケーブル露出部分が切断されやすいため、物理的に切られない対策をお願いします。

